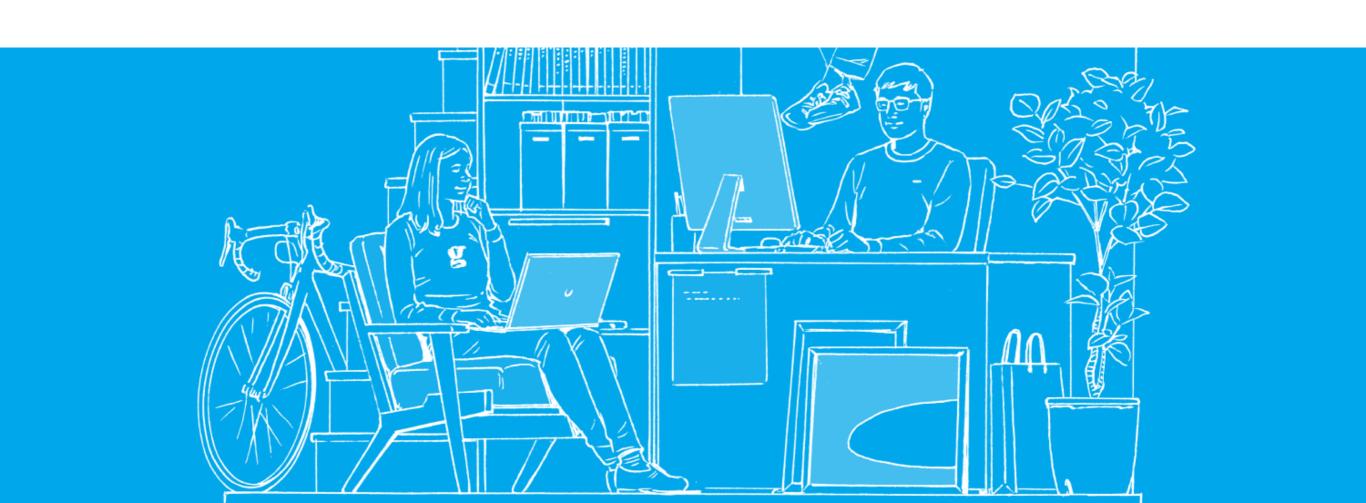


Gs React 04



React 第4回目

Next.js の特徴

Next.js の環境構築

Next.js 基本

Next.jsのスタイル



Next.jsの特徴

Next.jsの特徴

- 1. Next.jsはReact.jsをベースにしたフレームワーク
- <u>2.ページ(画面URL)が作りやすく、管理しやすい</u>
- 3.最適なパフォーマンスが可能(SSG,SSR,CSR)

Next.jsの特徴

端的に➡

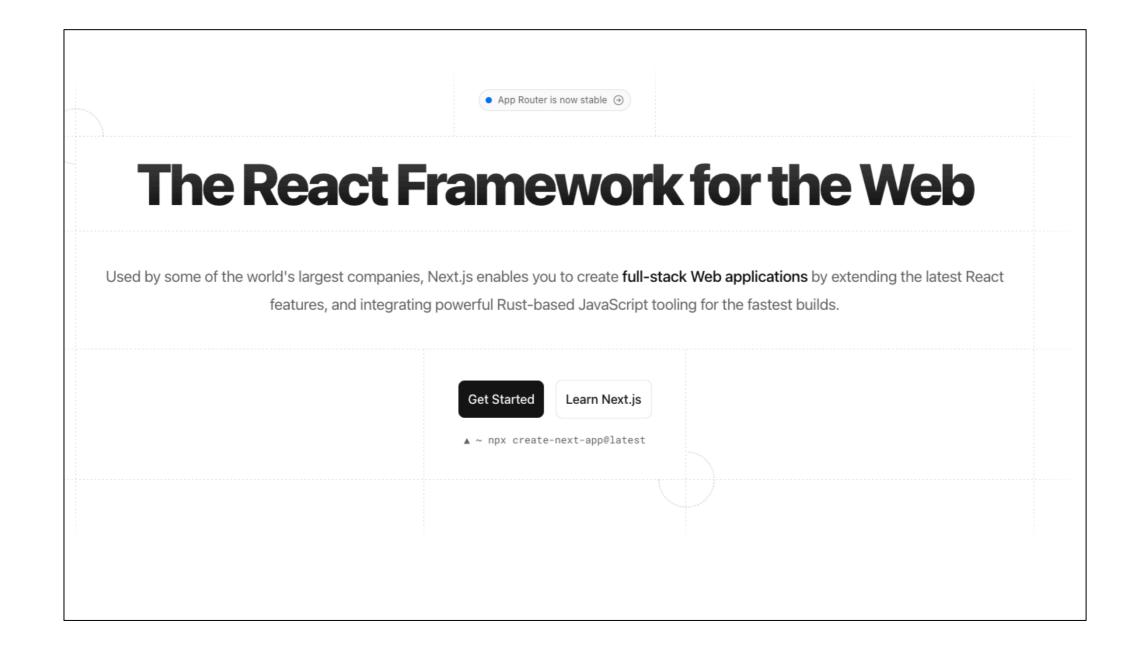
ページが作りやすく、Reactのようなページルーティングで混乱することがあり

ませんじ

またページごとのmetaタグなどの調整なども簡単にできるので、SEO面や

<u>ページごとのカスタマイズも非常にしやすいのが特徴です。</u>

Next.js の環境構築



https://nextjs.org/

```
> npx create-next-app@latest
Need to install the following packages:
    create-next-app@latest
Ok to proceed? (y) y

What is your project named? ... gs_lab_04

Would you like to use TypeScript? ... No / Yes

Would you like to use ESLint? ... No / Yes

Would you like to use Tailwind CSS? ... No / Yes

Would you like to use `src/` directory? ... No / Yes

Would you like to use App Router? (recommended) ... No / Yes

Would you like to customize the default import alias? ... No / Yes

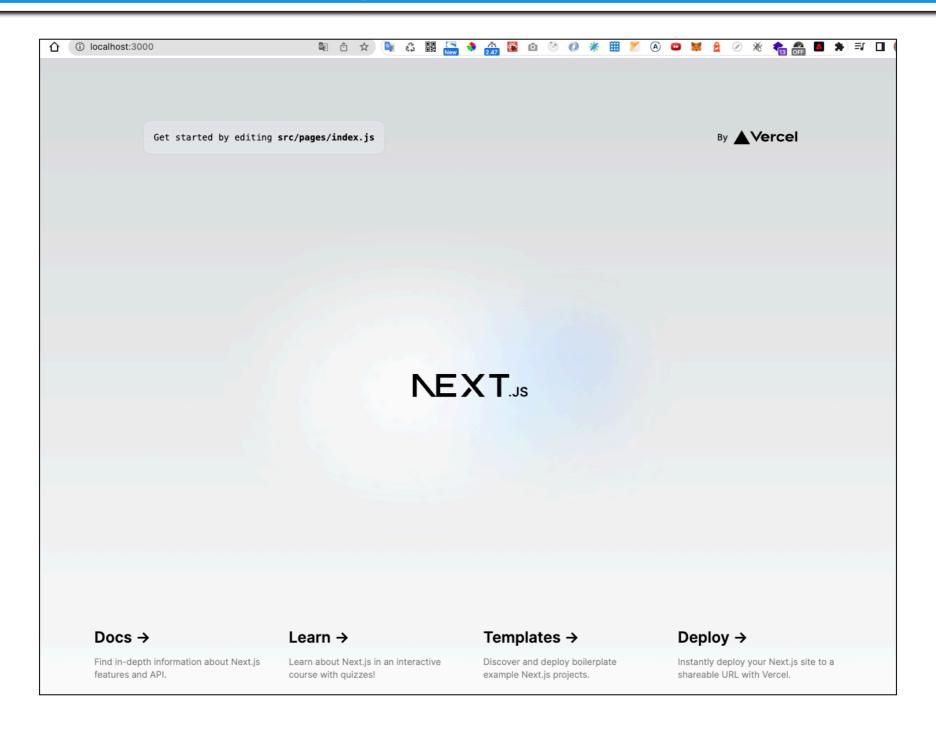
Creating a new Next.js app in /Users/morita/Desktop/gs_lab_04.
```

基本的に練習なのでどれを「選択」しても大丈夫です。 一旦はこのように選択してみましょう。



cdコマンドで作成したプロジェクトに移動⊸[npm run dev]で起動◎





このように表示されていればOKです◎



端的に⇒

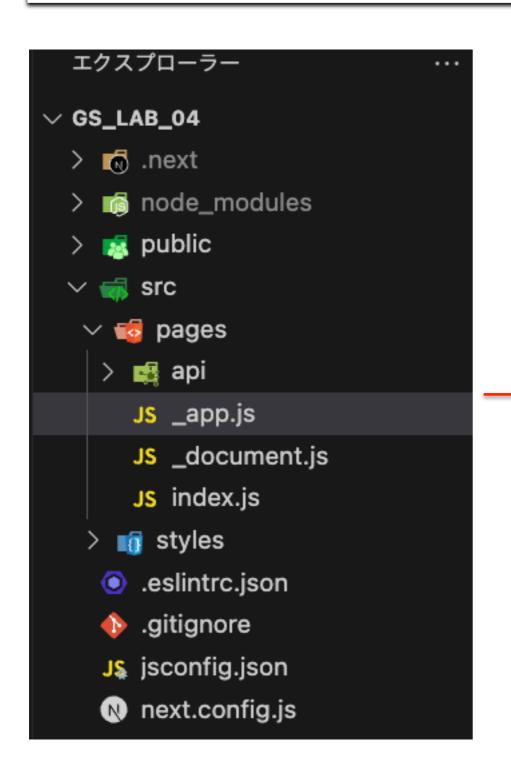
src/pages/の中が画面のURLを決める場所になっています。

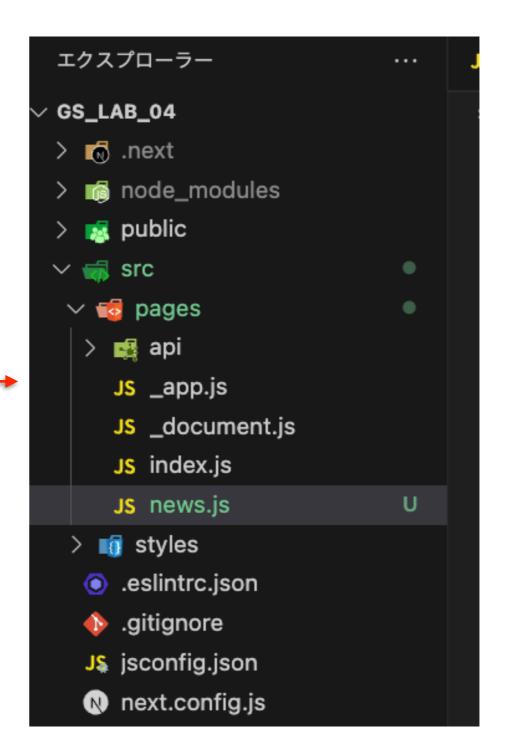
<u>つまり</u>

https://gs.jp/news

みたいなページを作成したいとした場合は

src/pages/news.jsとなります。







news.jsの中に記入をして表示すると⇒このように画面で表示されます◎



Next.jsのスタイル

Next.jsのスタイルはどうするの?

- 1. Tailwindが初期設定できるため使用可能(環境構築時)
- 2.sassを導入して使用するパターン
- 3.styled-componentsを導入して使用するパターン(授業ではやりません)

Next v13以降はTailwindが初期設定ができるようになったため

2,3のみnpm(yarn)などを用いて使えるように設定する。

1.Tailwindの場合

このようにTailwindの書き方をすれば、設定不要で使用できます。



2.sassの場合

```
# yarn の場合
$ yarn add sass --dev
```

```
# npm の場合
$ npm install sass --save-dev
```

どちらかを実行し、次のページのように設定をすると使用できます。



2.sassの場合

```
JS news.js U $\infty$ test.module.scss U $\times$
 エクスプローラー
1 ∨ .test {
 > 👩 .next
                           color: color:
 > node_modules
 > 🌠 public
 > 🙀 api
    Js _app.js
    JS _document.js
    Js index.js
    Js news.js
                  U
 globals.css
    U
```

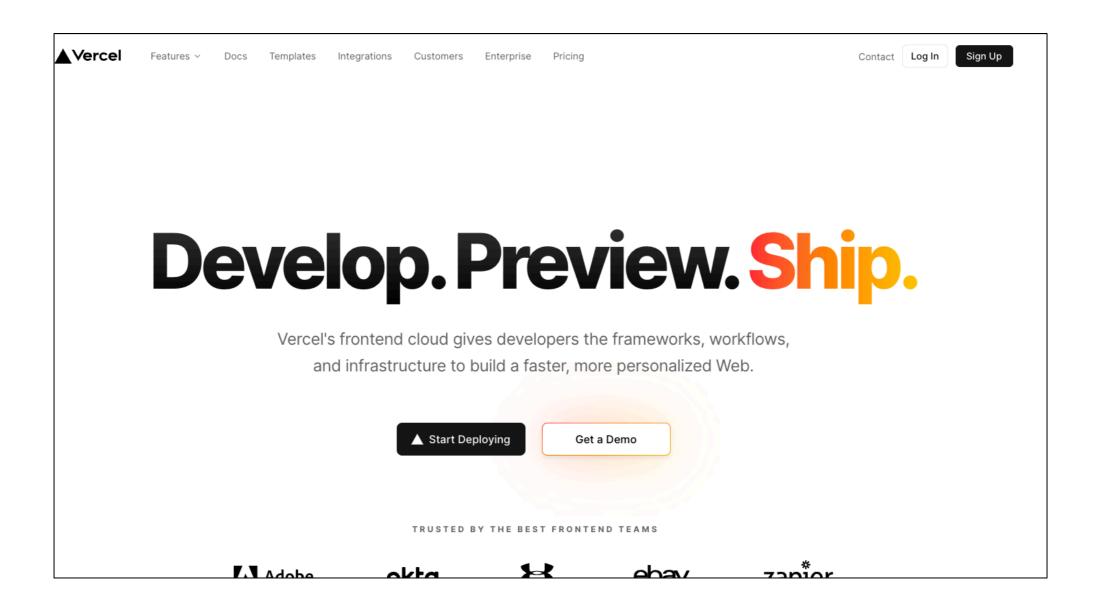
2.sassの場合

```
JS news.js U X 🔗 test.module.scss U 🝣 tailwind.config.js
src > pages > JS news.js > [∅] news
      import React from "react";
      import style from "../styles/test.module.scss";
      const news = () => {
        return (
          <div className="text-5xl">
  6
            News
            テスト
  9
          </div>
 10
 11
 12
 13
      export default news;
```

sassの場合はimportをして使用する必要があります��(moduleという命名が必須!)

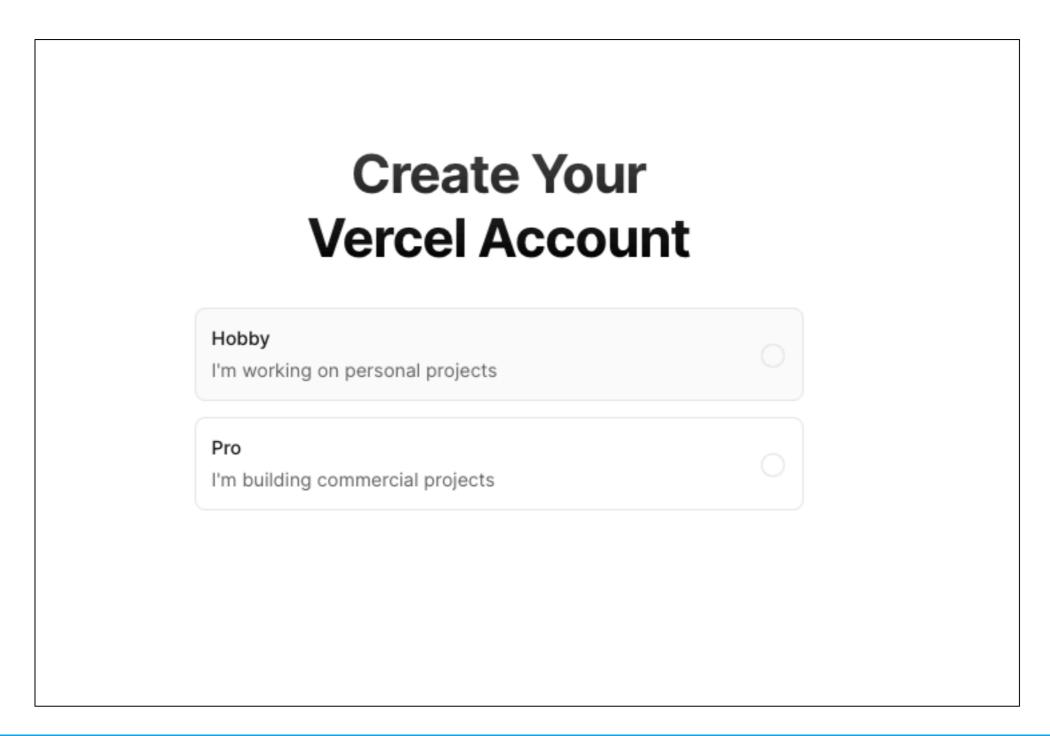


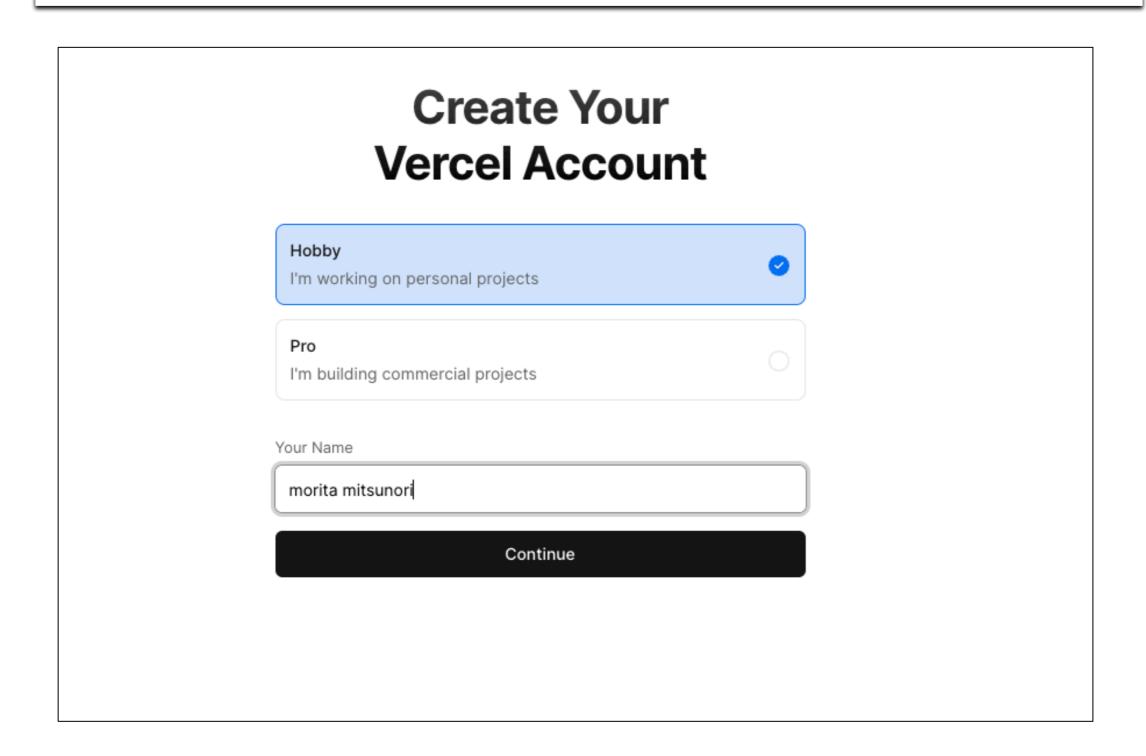
- 1.gitのリポジトリを作成し、そこにコミットをする
- 2.Vercelにログインをし⇒リポジトリを選択する
- 3.ボタンをポチる

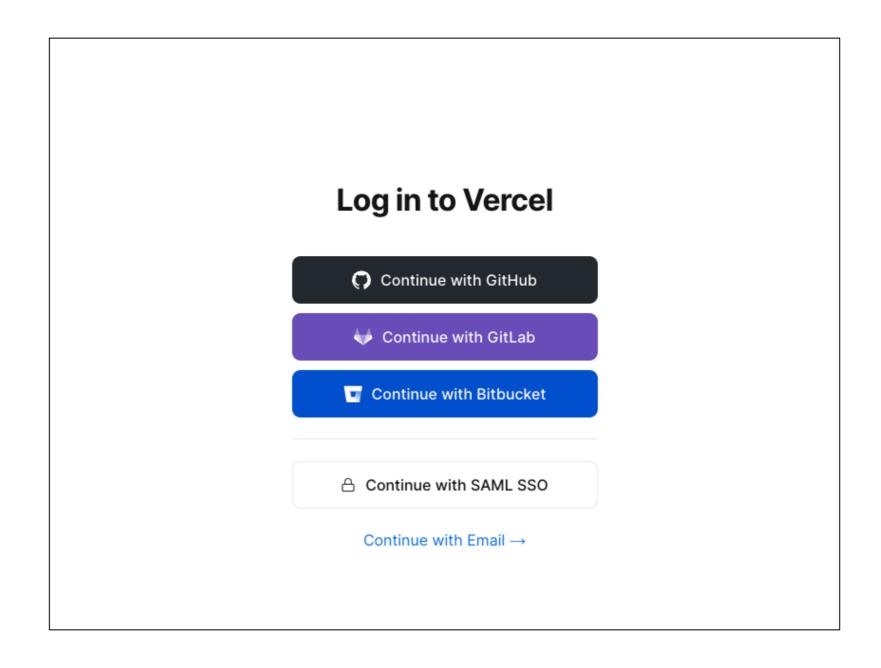


https://vercel.com/





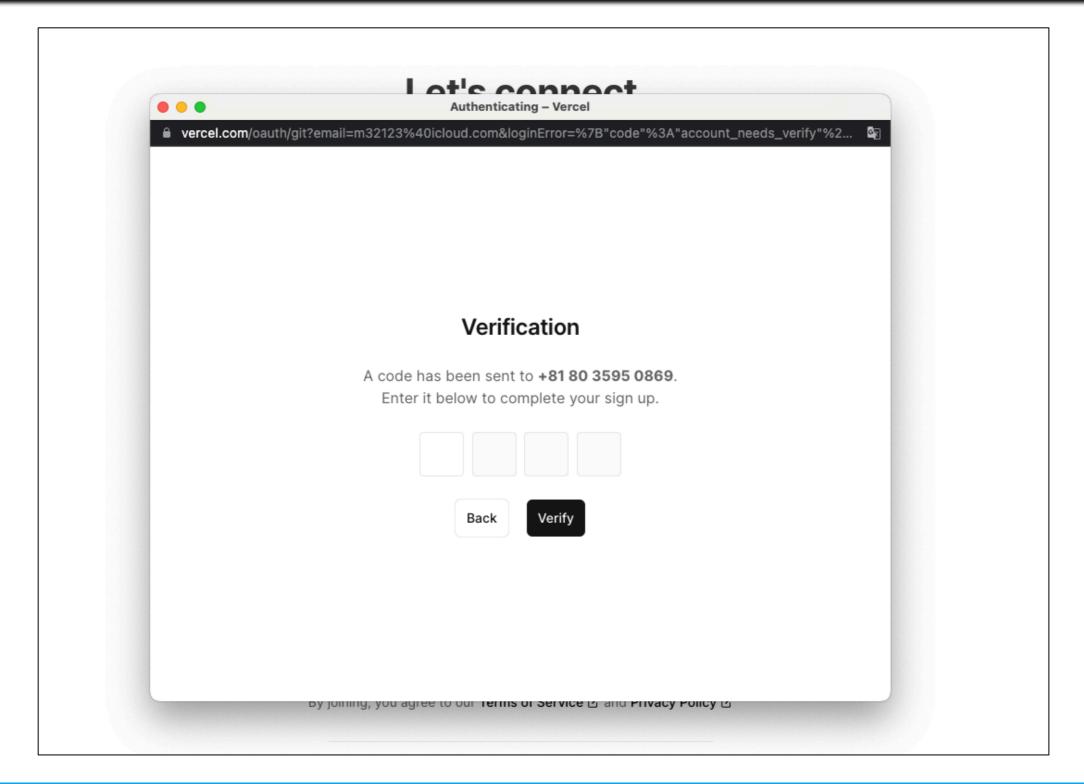


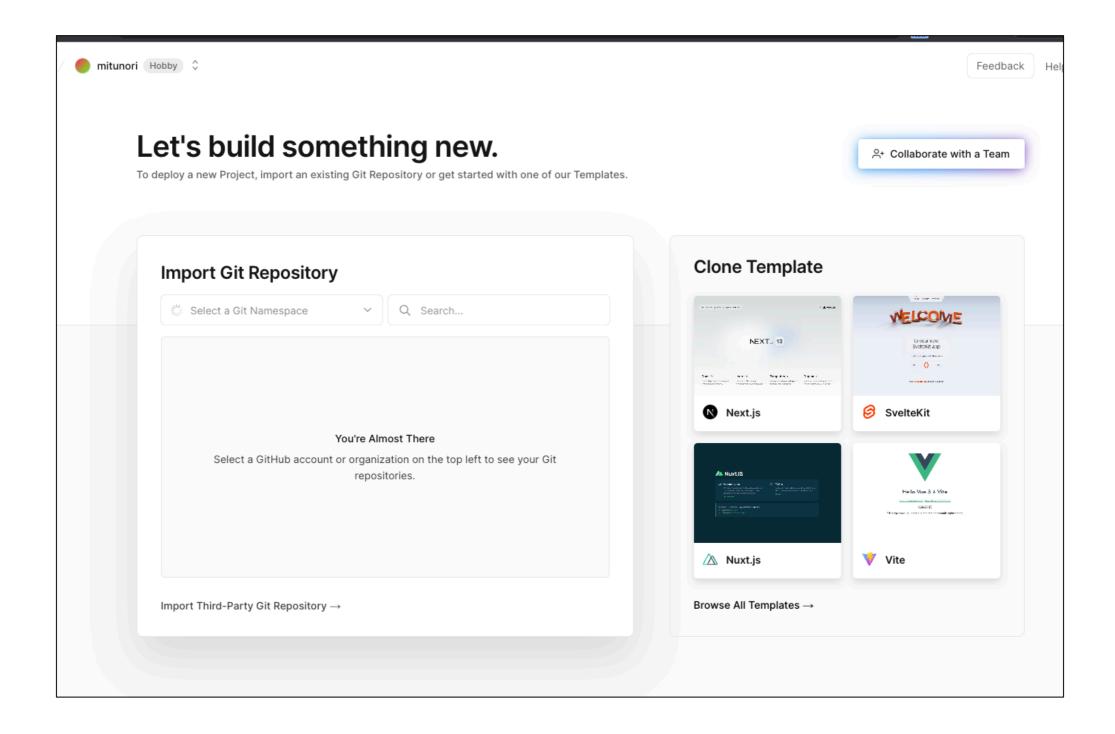


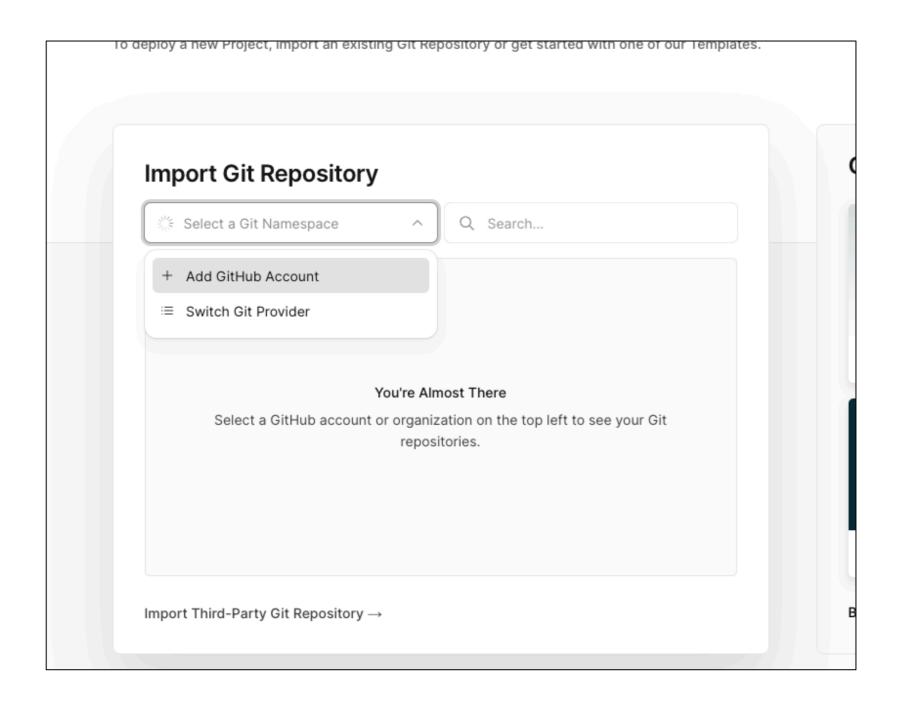
Verification

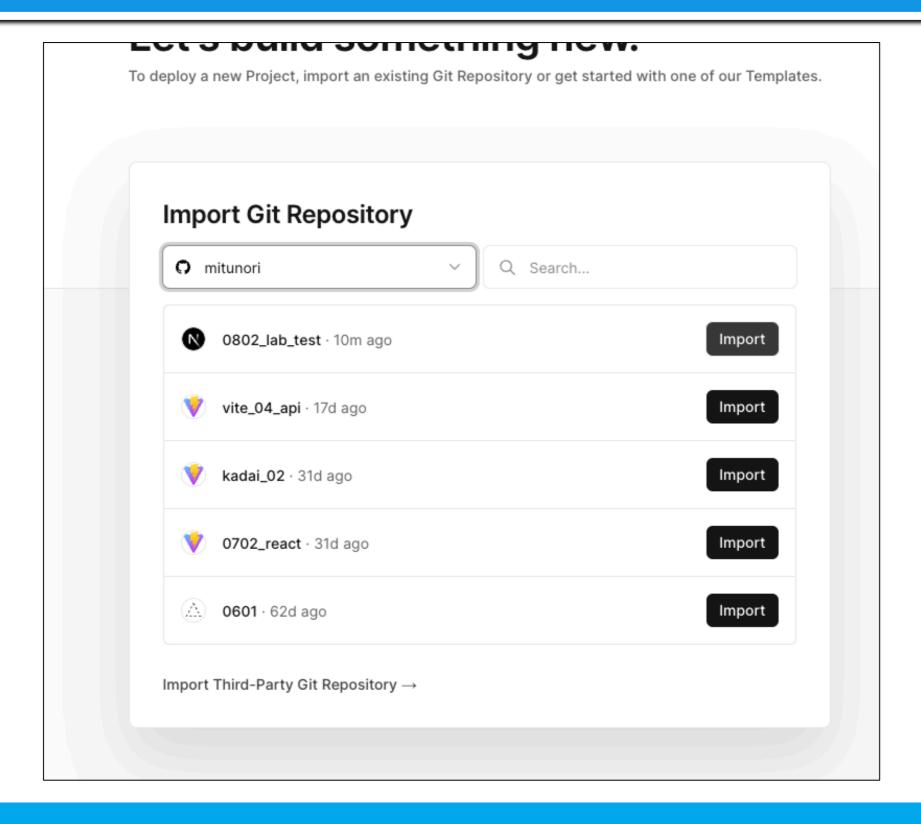
Please enter your phone number to verify your login. You will receive a single use code to submit.

- **(201)** 555-0123
- -- ISIACI (/K IO) T 3/2
- Italy (Italia) + 39
- ✓ Jamaica + 1876
- Japan (日本) + 81
- X Jersey + 44
- ≥962 + (الأردن) + 962
- Каzakhstan (Казахстан) + 7









| 0802_lab_test | Configure Project | |
|--|-----------------------------|------|
| Configure ProjectDeploy | Project Name | |
| | 0802-lab-test | |
| | Framework Preset | |
| | Next.js | ~ |
| IT REPOSITORY | Root Directory | |
| mitunori/0802_lab_test | J | Edit |
| 9 main | | |
| <u></u> | > Build and Output Settings | |
| nport a different Git Repository → | > Environment Variables | |
| rowse Templates → | | |

Deployのボタンを押せば自動的にデプロイされます。

プチ演習

プチ演習更新したものを再度デプロイ

- 1.指定するレイアウトを再現する
- 2.gitにコミットしてリモートにプッシュする
- 3.Vercel側で自動で反映されるのでダッシュボードをみてチェックする
- 4.表示内容を確認する

16時からスタート!40分前後を目処に取り組みます◎⇒作成後発表



宿題

来週までの宿題

1.Next.jsのAPI連携を予習しておく



第4回目はNext.js焦点を当てています。

Next.jsの使い方に慣れていきましょう@

*なるべくわかりやすい表現やかなり噛み砕いた言い回しにしていますが、あくまでも一つの意見として参考にしてみてください

違う方や他の記事で色々な解説や説明などもありますので、それらと見比べながらやってみると理解が深まるかと思います

